

2020年10月27日

内閣総理大臣 菅 義偉 様
内閣官房長官 加藤勝信 様

国際婦人年連絡会 世話人 大倉多美子 橋本紀子 前田佳子

日本学術会議「第25期新規会員任命」に関する要望書

国際婦人年連絡会は、全国の女性団体34団体が結集し、女性の地位向上・ジェンダー平等社会の実現を目指し活動している1975年創設のNGO団体です。

先般、菅義偉内閣総理大臣は、日本学術会議が新会員に推薦した105名の候補の内、人文・社会科学系の6名を任命せず、またその理由も明らかにしなかったとの報道がなされました。それに対して、日本学術会議より「第25期新規会員任命に関する要望書」が菅総理大臣宛に出され（2020年10月2日）、その中で任命されない理由の明示と速やかな任命の2点が求められています。

国際婦人年連絡会は、科学者の総意の下に人類の平和のため世界の学界と提携して学術の進歩に寄与してきた日本学術会議に敬意を表し、日本国憲法が保障する思想と良心の自由、学問の自由、及び言論の自由を担保する観点から、このたびの学術会議の要望を全面的に支持するものであります。

由々しきことに、去る9日の総理の発言により、学術会議が推薦した105人のリストを菅総理自身は見えていないことが明らかとなりました。「会員候補のリストを見た段階で99人だった」のであれば、総理は日本学術会議からの推薦リストに基づかずに任命したことになり、その意味するところは、菅総理の「任命行為は違法である」ということです。

このようなことがまかり通るなら、学問の自由だけではなく、国民の思想・良心の自由や表現の自由も脅かされ、社会は委縮し、多様性は失われ、民主主義と立憲主義が破壊されることは必定、決して容認できるものではありません。従って、国際婦人年連絡会は、以下の2点を強く要望いたします。

1. 2020年8月31日付で日本学術会議が推薦した候補者が任命されない理由を明確に説明していただきたい。
2. 任命されていない6名の候補者について、速やかに任命していただきたい。

以上